

日本風景街道だより

2011年 秋 Vol. 17

全国で124の風景街道が登録

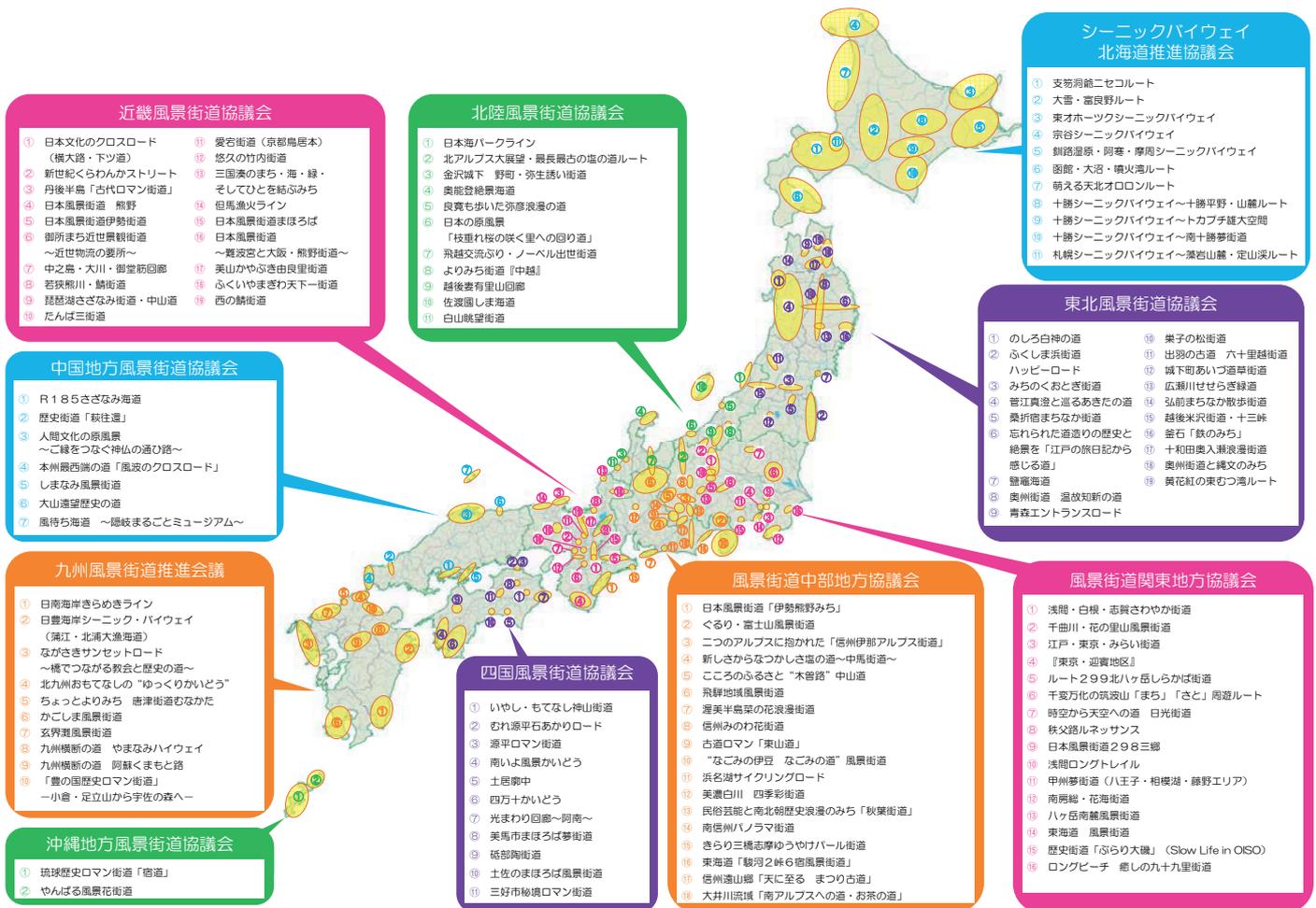
平成23年9月に沖縄で1ルートが新規登録されました。

これにより全国で124の風景街道が登録されました(平成23年9月末現在)。

沖縄の新規登録ルートは、「やんばる風景花街道」です。

なお、登録された各風景街道の概要は、日本風景街道ホームページ

(<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>)、もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。



シリーズ: 各地域の風景街道の取り組み

よりみち街道「中越」クラブ

中越大震災で生まれた絆 ～ 被災地のために

1. はじめに

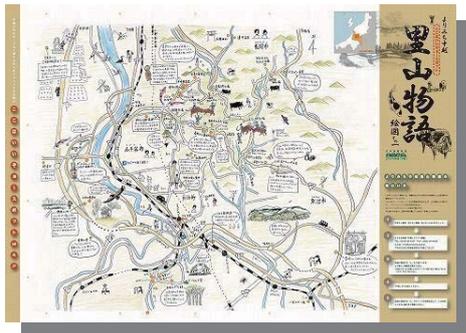
平成16年10月23日、マグニチュード6.8の巨大地震が新潟県中越地域を襲い、地域の社会基盤や産業基盤は甚大な被害を受け、美しい風景や人々の暮らしも大きく姿を変えてしまいました。

そのような状況の中、「よりみち街道『中越』クラブ」は、中越地域に訪れる人と迎える人との交流が生まれるような取り組みを、「道」をきっかけとして進めていくことによって、中越地域をかつてのような活力と潤いのある地域にしていくために誕生しました。そして今日、中越地域では、震災直後より全国からの温かい支援を頂き、道路等の社会基盤も復旧し、地域の産業や文化も復興を成し遂げられ、かつての美しい風景や人々のにぎわいも戻ってきました。中越大震災をきっかけとして生まれた全国の人たちとの絆、それが地域を励まし活力を与え続けています。

2. 中越大震災の被災地復興支援

(1) 地域資源をマップに

よりみち街道「中越」クラブが製作した「よりみち中越里山物語」は、通常の観光マップで紹介されている資源とは違う観点から、この地域でしか味わえない本当にお勧めする資源をテーマに、「案内人が語る中越地域の旅の面白さ」を紹介しています。



「里山物語」パンフレット



(2) フォトコンテストの開催

よりみち街道「中越」クラブでは、中越地域の魅力を多くの方に知っていただき、地域の復興と活性化を支援することを目的に、2006年からフォトコンテストを開催しています。毎回、入賞作品を素材として翌年のカレンダーを製作し、多くの方からご好評をいただいています。



フォトコンテスト入賞作品をカレンダーに(2010年)

3. 東日本大震災の被災地のために

中越大震災では全国から暖かい支援をいただきました。よりみち街道「中越」クラブではその恩返しに、微力ながら平成23年度のフォトコンテストを東日本大震災の応援企画とし、入賞作品を使用して制作するカレンダーの売上金の一部を被災地域への支援に活用していくことにしました。



災害を学び、家族を守るためのカレンダー



今年度のフォトコンテストの応募者は例年より少ないものの、50名、221点が集まりました。平成23年9月6日、長岡市内で審査会を行い、最優秀賞には、^{おおのよしかず}大野義和さんの「ゆかいな仲間達」が選ばれたほか、新潟フジカラー賞1点、優秀賞3点、佳作7点、特別賞2点が選ばれました。それらの入賞作品を素材として、「^{きおくみらい}記憶未来カレンダー」と名付けた平成24年カレンダーを製作しました。裏面を利用して災害を学び、災害に備えることができます。



<審査員>

なかじょうまさのり ^{ふじたとしろう} 中條均紀(写真家) (下段：左から4番目)、藤田俊郎(株式会社 新潟フジカラー) (上段右：右から5番目)
 まるやまてるひこ ^{なががきじゅつかぐ} 丸山暉彦(長岡技術科学大学名誉教授/よりみち街道中越クラブ代表) (下段：左から3番目)



副賞の南相馬市の特産品

平成23年10月30日には、長岡市内にオープンしたばかりで、中越大震災の情報発信拠点施設である「長岡震災アーカイブセンター」にて表彰式を行いました。今年度の入賞者には、副賞として福島県南相馬市の^{たか}多珂うどんと漬物のセットが贈られました。

私たちよりみち街道「中越」クラブでは、中越大震災で被災した貴重な経験を、東日本大震災で被災している地域の皆様の復興につなげていけるよう、これからも支援をしていきます。

(随筆者) よりみち街道「中越」クラブ 事務局 ^{きむらひろかず} 木村浩和

シリーズ: 各地域の風景街道の取り組み

地域資源を活かした原風景～源平ロマン街道～

(源平屋島地域運営協議会)

1. ルートの概要について

「源平ロマン街道」は、自然と人間の営みが一体となった多島美の景観として、昭和9年に日本で最初に誕生した瀬戸内海国立公園内に位置し、屋島ドライブウェイから庵治半島までを瀬戸内海沿いに巡り、道の駅「源平の里むれ」までを結ぶ、魅力あふれる街道です。「美しい自然 屋島」、「歴史のまち 牟礼」、「純愛の聖地 庵治」の3つのエリアを結び、備讃瀬戸の美しい景色や源平合戦の史跡、また、2004年に大ヒットした映画「世界の中心で、愛をさけぶ」のロケ地を楽しむことができるルートになっています。



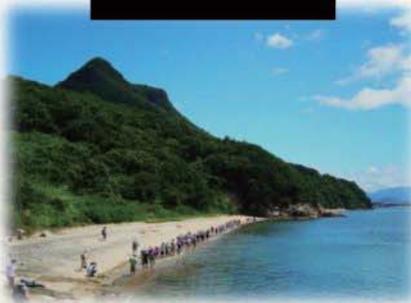
美しい自然 屋島



歴史のまち 牟礼



純愛の聖地 庵治



2. 活動実績について

①お宝再発見ツアー

国立自然公園屋島地区の豊かな自然を活用した登山などを通じ、地元のボランティア団体やウォーキンググループなどを中心とする組織により、地域の自然を活用したウォーキングを始め、ワークショップや遍路道の清掃活動を実施しています。また、地域の自然や四季の景色の写真を撮ることを楽しんでもらうと同時に、地域の新しい魅力を発見し、地域の活性化につなげるためにフォトコンテストを実施しています。



②たかまつ源平の里「光とあかりのファンタジー」

源平屋島（屋島・牟礼・庵治）地域では、夏季に各地域において、瀬戸の夕陽や高松の夜景、幻想的な石あかりなど「光」と「あかり」をコンセプトとした様々な催し物が開催されます。そのような催し物をまとめ、共同で情報発信を行うため、「たかまつ源平の里『光とあかりのファンタジー』」としてパンフレットを作成し、源平屋島地域への誘客増加に努めました。イベントは各地域の地元の団体が主体となり実施し、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめるような内容となるよう、工夫されています。



3. 新たな取り組みについて

①源平屋島地域（屋島・牟礼・庵治） 自然散策ウォーキングマップの作成

源平屋島地域には、舗装され、勾配のなだらかな歩きやすい自然散策道が点在しているため、ウォーキング初心者の方でも気軽に楽しむことができるよう、スタート地点を公共交通機関とする「自然散策ウォーキングマップ」を作成しました。

単にコースを紹介するだけでなく、ウォーキングしながらその地域を楽しむことができるよう「楽しみ方」の紹介を併せて紹介しています。

中・上級者向けには、屋島の遍路道などの登山道が示されている「屋島登山道説明図」を作成しました。

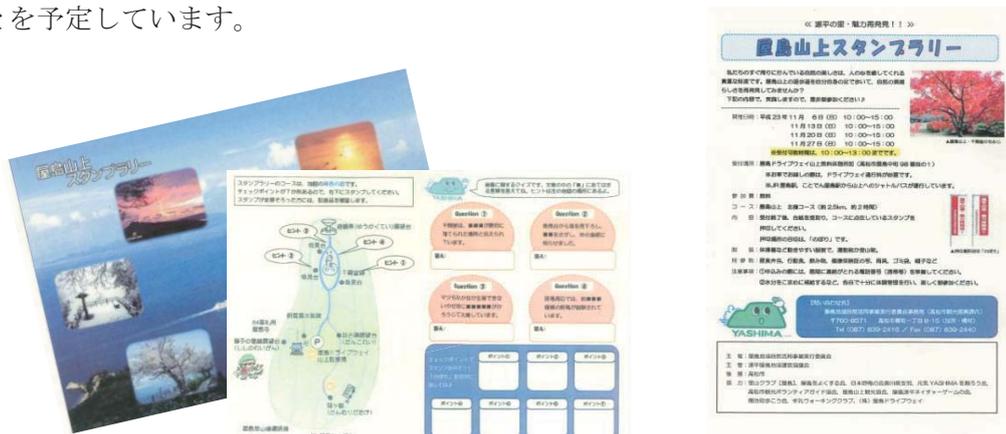


②屋島山上スタンプラリーの実施

平成23年度において、新たな取り組みとして「屋島山上スタンプラリー」を実施します。この取り組みは、私たちのすぐ周りに佇んでいる自然の美しさは、人の心を癒してくれる貴重な財産であることから、屋島の山上遊歩道を自分自身の足で歩き自然の素晴らしさを再発見しようとするものです。

屋島の北嶺（約2.5km）に7か所のスタンプ押印場所を設け、自然散策しながらのレクリエーションを楽しんでいただき、更に、簡単なクイズにも答えてもらうことで屋島について関心を持ってもらおうと考えています。

今後の展開としては、屋島山上だけでなく、牟礼・庵治地域においても同様な事業を実施することを予定しています。



4. おわりに

これまで、源平屋島地域において個々の団体がそれぞれに活動をしていましたが、「源平ロマン街道」を通じて、各団体が協力し、連携が強化されることで、活動の幅が広がり、特に、気軽な登山やウォーキングが好評で、リピーターが増加しています。

今後も、団体間の連携を強化し、また、協力していただける団体を増やしていくなかで、更に活動の幅を広げ、歴史・文化・自然に恵まれた源平屋島地域の魅力を伝え、また新たな地域の魅力づくりや認識づくりに貢献していきたいと思えます。

<執筆者>

源平屋島地域運営協議会 事務局

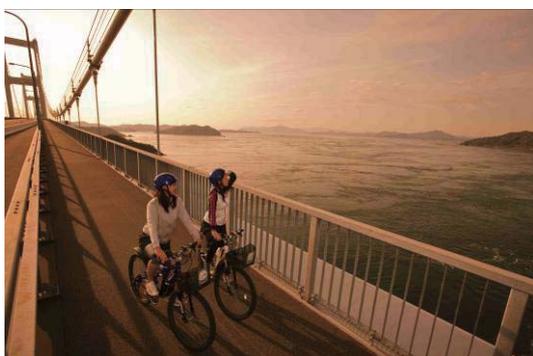
高松市産業経済部観光振興課 別所 里美



2. しまなみサイクリングロードを取り巻く環境

平成22年8月、日本経済新聞の掲載記事「おすすめサイクリングコースランキング」において1位に選ばれたこと、また近年の健康志向や地球温暖化対策への意識向上も相まって、全線供用開始年の平成11年以來の「サイクリングブーム」で賑わっており、レンタサイクルに限らず、全国の自転車愛好家がマイバイクを持ち込んでサイクリングを楽しむ光景を日常的に目にすることができる。

本州と四国にかかる9本の架橋と島々を繋ぐしまなみ海道の景色である「多島美」、島々に暮らす温かい人々とのふれあい、瀬戸内の恵みである魚介とかんきつ類、橋を渡るたびに駆け抜ける心地良い爽快感と海峡横断の達成感は、しまなみサイクリングロードが持つ、唯一無二の特長である。



3. 課題

しまなみ海道サイクリングロードは、先に述べたものが魅力であり、コンセプトでもある。その中でも、推奨ルートは、サイクリングロードとして案内するルートであるため、安全性や地域の活性化など、様々な要因を満たすルートであることが必要不可欠である。

しかし、現在の推奨ルートには、これらの条件が満たされていないルートが存在し、道路構造的には「広い自歩道がありながらブロック舗装であるため走り



走りにくいブロック舗装

にくい」、「波打ち歩道が存在する」、

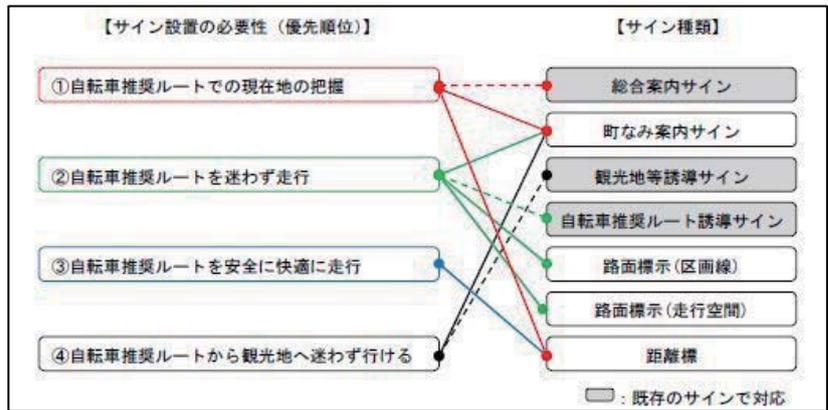
「自動車のスピードが速くて怖い」、また、サインについては「設置されているサインに統一感がない」、「自転車利用者目線のサインになっていないため気付かれにくい」、「従来、自転車は歩道を走行するとの認識があったため、適切な位置に設置されていない」などの問題が指摘されたところである。



統一感のないサイン

4. 取組み内容

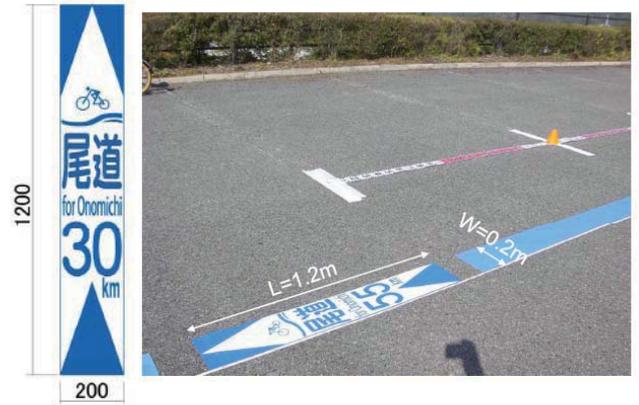
「サイン」は、人が行動する際、必要な情報を伝える重要なものである。しまなみ海道サイクリングロードにおいて、自転車で訪れる全ての人が自在に活動できる良好な環境を形成するための基本方針として、以前、サイクリングロードとして案内されていたルートに残存するサインを有効に活用しつつ、不必要なものは撤去し、また改善が必要なものを整備計画に基づき改善することで、統一感を持たせ、混乱を防ぐサイン整備を行った。とりわけ、サインの必要性に対応するその種類を整理し、短期的に優先して設置すべきものを明確にした上で、社会資本整備総合交付金を活用し、次のサインを整備した。



(1) 町なみ案内サイン



(2) 距離標・路面表示（走行空間）



(3) 路面表示（区画線）

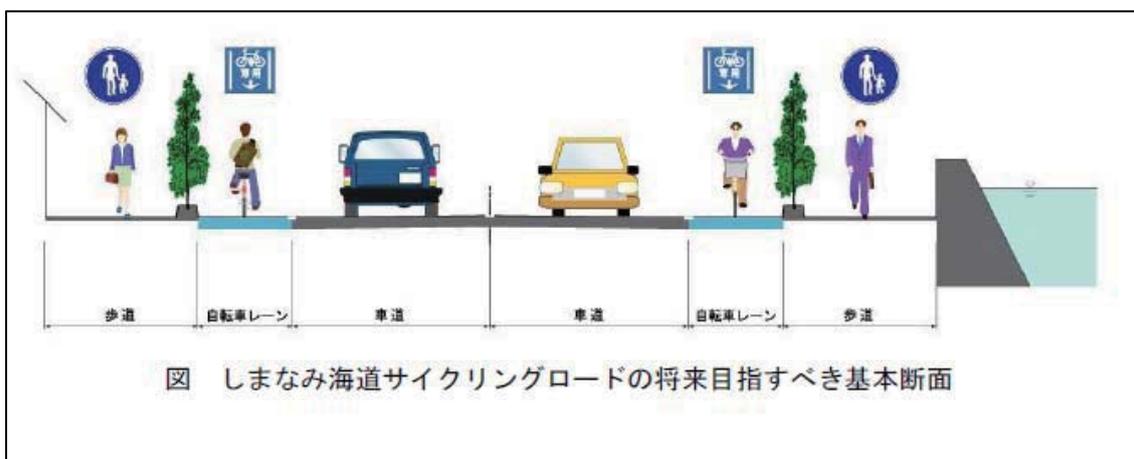


整備後の走行の様子



5. 今後の展開

近年、さまざまな整備方法により、都市部で自転車走行空間の整備が進められているが、それらを参考にしまなみ海道の将来像を示す。しまなみ海道サイクリングロードには、ファミリー層やスポーツバイクなど、さまざまな客層が訪れる。前述の基本方針に従い、また、それぞれの人に対応した自転車走行空間を確保するため、車道部両側に自転車レーンの設置を目指す。



【執筆者】尾道市産業部観光課

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。

掲示板利用の登録や、日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (北海道開発局 建設部 道路計画課 内)	種蔵 史典	011-709-2311(代表) (内線 5357)
東北風景街道協議会 (東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	宍戸 英雄	022-225-2171(代表) (内線 4256)
風景街道関東地方協議会 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	吉沢 仁	048-601-3151(代表) (内線 4252)
北陸 風景街道協議会 (北陸地方整備局 道路部 道路計画課 内)	遠藤 正樹	025-280-8880(代表) (内線 4213)
風景街道中部地方協議会 (中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)	服部 一宏	052-953-8171(代表) (内線 4312)
近畿風景街道協議会 (近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)	田島 祐介	06-6942-1141(代表) (内線 4612)
中国地方風景街道協議会 (中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	妹尾 圭人	082-221-9231(代表) (内線 4613)
四国風景街道協議会 (四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	渡辺 修身	087-851-8061(代表) (内線 4612)
九州風景街道推進会議 (九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	鈴木 昭人	092-471-6331(代表) (内線 4252)
沖縄地方風景街道協議会 (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)	末光 勇次	098-866-1914(代表) (内線 4353)

【ご意見お寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年4回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

発行：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL: 03-5253-8497 FAX: 03-5253-1622

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>